



年末雑感

毎年ながら、歳の瀬の道路工事にはつくづく参ってしまう。今年は四日市場地内の国道がねらわれて、現在大々的に掘削作業が進められている。

なんでも工事期間は明年一月中旬までとのこと。

毎日自動車通勤でここを通過している私は、対面通行で渋滞中の車窓から工事風景を眺めているが、色々な面で言い知れない不合理を感じる。

十分使用に耐えると思われる側溝を大型砕岩機で毀し、その下を走っている水道管を掘り出す。

砕岩機の当り処が悪ければ、水が噴き出すだろう。

第一、今から掘り返して舗装変える道路そのものが、素人目にはほとんど痛んでいないように見える。

今回の工事は、電々公社のケール埋設工事も併せて行うそうだが、

が、寒い時期に打ったコンクリートや舗装は、誰が考えてももちが悪く、単価も高上まりがする。

しかもこのあたりは確か二三年前にも舗装工事をした筈だ。

合理主義が徹底している西ドイツでは、道路工事を行う際に、その下を走る下水道・ガス管・電気電話回線などの連鎖する工事を同時に済ませ、我が国のような無駄はしていないと聞く。

真偽のほどは定かでないが、我が国では、各省庁の割り当てられた予算消化のために、敢えて年末にきて、こうしたロスの多い工事を繰り返すという巷間の声がある。確かにどこにいても年末になると道路工事をよく見かける。

時あたかも行政改革・省エネ時

消防施設が

さらに充実



代——景気浮揚だ、いや減量経済だと国家の論議をよそに、それでも毎日この手の工事は展開されている。恐らく日本中いたるところで・・・

日本人はおしなべてしんぼう強いから、矛盾は感じつつも誰一人苦情も言わず、この時期の工事が終わるのを締念をまじえ、息を殺してじっと待っている。

しかし、考えてみよう。

もうもうたる土煙を立ち昇らせながら、悪くもない道路や水路を毀し、再建設する工事を認めた大人が、一方では子供たちに「物を大切にす精神」「環境を美しく保つ心」をええらそうに説くことができるかどうかということ。

一市民より

市では、消防ポンプ自動車二台小型動力ポンプ付積載車三台を購入し、消防署などに配備しました。

また、日本自動車工業会から最新型の救急自動車が寄贈され、消防署に配車されました。

○消防ポンプ自動車（BDI型）

消防署

盛里分団第三部（曾雄）

○小型動力ポンプ付積載車B2級

谷村第一分団第十部（鷹の巣）

谷村第二分団第三部（引の田）

谷村第二分団第九部

（上小野大津）

消防施設の機動力が充実・強化され、今後の消防活動が大いに期待されます。

消防団員総合訓練大会

去る十月二十四日（日）午前八時三十分から、第七回都留市消防団員総合訓練大会が都留第一中学校グラウンドで、団長以下六一七名の団員が参加して行われました。

小石沢助役のあいさつ、団長訓示、来賓の祝辞に続き大会は、服装・機械器具点検、全団員による（各分団ごと）訓練礼式のあと、

県大会に代表出場する谷村第二分団が訓練礼式の模範演技、消防団のポンプ四十八台が分団ごとに菅野川で放水訓練、分列行進を実施しました。

終りに、消防長の全般にわたる

谷村第二分団準優勝に輝く

山梨県消防団員総合訓練大会

去る十一月七日（日）山梨県消防学校において開催された、第十八回山梨県消防団員総合訓練大会の、訓練礼式の部に都留市消防団谷村第二分団が、東部支部（二市一町四ヶ村）の代表として出場し、優秀な成績を収め準優勝に輝きました。この訓練礼式の部は、指揮者一名、隊員三千名で行い、県下各支部代表八隊が技能を競ったわけですが、この出場に際し谷村第二分団は去る七月十日より訓練を始め、幹部および団員が一体となつて、訓練に励み努力を重ねた成果であります。

